

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成12年(狂犬病予防事業)平成19年(感染症予防事業)	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	05 結核・じん肺
	事務事業名		03 感染症予防事業
		根拠法令・例規等	狂犬病予防法・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
		担当課(室)	保健課
		職・氏名	健康係長・白髭由美子
		電話	64-1820
		このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	犬の所有者、被災住民等
目的(何のために)	犬の登録、狂犬病予防注射を推進することで狂犬病の発生を予防する。災害時における感染症及び新型インフルエンザ等の感染症の発生と蔓延を予防する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	狂犬病予防注射の接種率の向上 感染症情報等により、早期に必要な対策を実施する

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	狂犬病予防事業	犬の登録、狂犬病予防注射の実施及び注射済票の交付を行うことにより、狂犬病の発生を予防し蔓延を防止する	
	感染症予防事業	災害時等における消毒等の防疫活動及び感染症予防の衛生教育を行う新型インフルエンザの予防啓発を行う	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		267	258	1,375	
	必要人員(人件費)	千円	0.36人	2,227	0.43人	2,719
	事業費		2,494	2,977	7,960	
	国県支出金					
	受益者負担		1,452	1,323	1,292	
	繰入金	千円				
	その他()					
一般財源		1,042	1,654	6,668		
受益者負担比率	%	58.2%	44.4%	16.2%		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	狂犬病予防注射済票交付数	説明	狂犬病予防注射済票交付数			
	結果指標量	事業	1,528	1,482	1,504	
	対前年比	%	-	97.0%	101.5%	
	活動コスト	円	2,494,000	2,977,000	7,960,000	
単位当たりコスト		1,632	2,009	5,293		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
狂犬病予防注射接種率	目標値(A)	70	75	75	75
	実績値(B)	70.41	67.98	69.60	到達目標値
	達成率(B/A)	100.59%	90.64%	92.80%	75
成果指標設定の考え方・式や説明					
(狂犬病予防注射済票の交付/年度末犬登録頭数) × 100					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> B

留意事項
事業の目的やその数値目標を達成するための結果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	民間業者で受けた場合犬の注射済票の交付が必要なことの周知を図るため、広報紙へ掲載。また、事務の効率化を図るため、今年度より人材派遣の活用を開始した。					

総合評価	
狂犬病予防事業に関しては、予防注射の接種率の向上に努めているが、民間業者で受けた犬の注射済票の交付が少ないため予防注射の接種率の低下につながっている。今後は、民間業者で受けた犬の注射済票の交付向上を引き続き目指す。 感染症予防事業では、21年度新型インフルエンザが大流行したため、人件費及び事業費が増大している。今後も流行の動向を見て迅速な対応が必要である。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	民間業者で受けた場合、犬の注射済票の交付が必要なことの周知をより一層図りたい。					